（様式４）

校　種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	１５	学校名	宇都宮市立泉が丘小学校

令和８年度　健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

１　健康（体力・保健・食育・安全）に関する主な実態

（１）元気っ子健康体力チェック・定期健康診断から

・元気っ子健康体力チェックでは，学年や種目によって全国・県平均を上回るもの，下回るものなど，結果は様々であった。「上体起こし」，「反復横跳び」，「20ｍシャトルラン」，「ソフトボール投げ」では，栃木県の平均値に近い学年が多く，筋力（上肢），敏捷性，体力，巧緻性（調整力）が十分に備わっている傾向があった。一方，「握力」「50ｍ走」「立ち幅跳び」では，栃木県の平均値を下回る学年が多くあった。

・むし歯のない児童の割合は今年度も全学年とも全国平均を上回っている。その一方で，未処置者の割合が全国平均を上回っている学年もある。

・医師の診断による食物アレルギーを有する児童が多く在籍し，アナフィラキシー補助治療剤（エピペン®，ネフィー®）を処方されている児童も複数いる。

（２）元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

【体力】「運動することが好きだ」の肯定的回答は全学年で 90%近くである。一方，「健康や体力に自信がありますか」に対しての肯定的回答が 71%という状況である。運動の日常化につながるよう，体育的な行事や日々の授業の内容や方法を工夫していきたい。

【保健】衛生チェック週間で「ハンカチ・ティッシュをもっているか」という質問を週間の前後で行ったところ，所持しているという肯定的回答が上昇した。衛生的で健康な生活習慣が身に付くよう，養護教諭との連携を図りながら発達段階に応じた指導を行うとともに，家庭への協力も呼び掛けていきたい。

【食】「朝食を毎日食べる」の肯定的回答は 88%である。朝食を欠食する児童も一定数見られることから，今後も家庭と連携しながら，望ましい食生活の定着に向けた指導・支援を行っていきたい。「好き嫌いしないで食べている」に対しての肯定的回答は 80%で，偏食傾向の児童も少なくない。今後も，苦手なものでも一口は食べることの大切さを呼び掛け，食べることができた際には称賛するなどの働きかけを通して，児童が栄養バランスを考えて食事できるようにしていきたい。

【安全】「健康や安全に気を付けて生活している」と回答している肯定的回答がどの学年も 90%を上回っており，安全に関する意識は高いと言える。引き続き，交通ルールの遵守や自分の身を守るための行動を意識した指導を行っていきたい。

（３）授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

【体力】運動委員会の企画では，身体を動かす楽しさを味わい，進んで運動しようとする意識が高まった。体育の授業や運動会では，多くの児童がそれぞれの目標をもって積極的に取り組み，自らの健康や体力への関心を高めた。運動関係の道具や場を整えたり，体育授業において，系統立てた目標や内容の下，授業形態や方法を工夫して展開したりして，児童が十分に身体を動かし，運動を楽しむ姿が見られた。

【保健】肥満指導教室「すくすく教室」や「衛生チェック週間」，長期休業中の「生活チェック」の取組では，自分の健康面についての関心を高め，改善しようとする様子が見られた。また，歯みがき指導（歯みがきタイム）により，給食後の歯みがきの習慣化の意識付けが進んでおり，行動の定着が図られた。

【食】お弁当の日の事前指導として，バランスよく食べることの大切さなど，食に関する指導を放送等を通して行った。その結果，児童の食への関心が高まるとともに，食事を作ってくれる人への感謝の気持ちも育まれた。また，食事マナー重点指導週間の実施前後において，児童の意識の変化が見られた。お箸の持ち方や使い方について周知するとともに，イベントを実施したことで，正しい食事の仕方への関心が深まった。

【安全】地震や竜巻，不審者等の様々な場面を想定した避難訓練を実施したり，竜巻被害の際に安全な場所や避難方法を明示したりしたことで，安全に対する理解を深め，場面に応じた適切な対応方法を確認できた。

２　今年度の重点目標　　健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進

生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成するために，自らの健康面や体力面のよさや課題から，自分に応じためあてを設定し，進んで活動に取り組んだり，安全に気を付けて生活したりしようとする児童を育成する。

３　今年度の取組（関連…「第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」：★，「令和８年度指導の重点」：□）

（１）心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成

★□児童の実態や体力チェックの結果に応じた体育の授業の工夫・改善
（低・中・高の系統を意識した目標と内容の設定，主運動に繋がる準備運動の工夫，各クラスの実態に応じた補教運動の継続的な実施，ICT 機器の活用）

★□児童が能力に応じて楽しみながら運動に親しむことのできる環境作りの推進
（体育授業における課題を選択できる場の設定，元気っ子チャレンジへの参加，外遊びの奨励，運動委員会主催のイベントの実施）

・各種運動の指導資料や指導法等の共有と効果的活用

・地域学校園での連携を図った取組の推進（実態や目標の共有，なわとび検定の実施）

（２）健康教育の推進

★□健康診断の適正な実施と事後措置の徹底（家庭・学校医との連携）

・健康観察の徹底，身体，衣服の清潔指導

★□児童の心身の健康相談（養護教諭・担任の連携）

□アレルギー疾患や感染症の未然防止活動及びアナフィラキシー補助治療剤使用シミュレーションを含む救急救命講習の実施

★健康課題への理解の深化（健康な生活習慣の定着や薬物乱用，心の健康，アレルギー疾患の問題）

★□自己の生活習慣の見直し，改善を図ることのできる指導の充実（保健委員会での児童主体による取組）

・健康な生活習慣定着のための家庭との連携（保健だより等）

・養護教諭の専門性を生かした体育(保健領域)，学活等への参画

★□肥満指導教室「すくすく教室」等の健康生活実践の推奨

★□歯科保健活動の充実（治療の推奨，歯みがき指導の充実）

★薬物乱用防止教室の実施

・熱中症防止に向けた校内体制の整備と，児童の自己判断能力の育成のための指導

（３）食育指導・給食指導の充実

□各教科，特別活動，総合的な学習の時間等における「食に関する指導」の工夫

★□創意ある給食活動の実施による食事の重要性や栄養バランスなどについての理解の深化と，児童がよりよい食生活のあり方を考え，改善を実践できるための指導の充実（給食週間の郷土料理，保健委員会の取組）

★□食事にふさわしい環境，好ましい人間関係，献立を通した栄養の指導，基本的なマナーの指導

★□栄養教諭の食に関する指導（学活・家庭料等の教科を含め）への参画

□児童の望ましい食生活の継続のための家庭との連携（啓発資料の等の活用）

★□感謝の心の醸成のための取組（給食週間，お弁当の日等の実施）

（４）安全教育，校内・校外の安全指導の充実・徹底

□体育や学校行事，児童会活動の機会を通した安全に関する理解の深化と実践化

・施設設備などの安全管理，安全点検

□危険察知能力の育成に向けた安全指導の徹底，避難訓練や防犯訓練の効果的な実施

□竜巻を想定した避難訓練の効果的な実施

□緊急マニュアルの共通理解の徹底と災害時等に備えた引取り訓練の実施

□交通安全教室，自転車運転免許事業

□登下校の安全指導の実施（ＰＴＡ，地域との連携）

□交通ルールの順守や自転車乗車時のヘルメット着用についての指導，保護者への啓発

・通学路の安全点検，危険個所指摘の要請及びより安全な通学路の変更（育成会との連携）

・家庭，PTA，地域と連携を図った交通安全指導の充実